

病棟全体で取り組もう！  
身体拘束最小化(仮)

プランナー：大磯義一郎 浜松医科大学 総合人間科学講座法学教授

特集

2024 年度の診療報酬改定によって身体拘束が減算の対象となりました。回復期リハ病棟では身体拘束最小化に向けて取り組んではいるものの、日々のリハで患者さんの機能が改善するため転倒転落や自己抜去などの医療事故が起こりやすく、身体拘束ゼロはむずかしい、という現場の声は根強いです。そこで本特集では身体拘束最小化に当たり、理想論に終始せず職場全体としてどのように取り組めばよいか解説するほか、実際の施設での取り組みも紹介します。本特集の目的は、読者が本特集を読むことで身体拘束最小化への理解を深め、少しでもスムーズに身体拘束最小化に取り組めるようにすることです。

- 1 対談 安井はるみ(セコム医療システム株式会社 運営監理部 担当課長)  
別府千恵(北里大学病院 副院長・看護部長)  
甲斐由紀子(宮崎大学医学附属病院 医療安全管理部副部長)  
<進行>大磯義一郎(浜松医科大学 総合人間科学講座法学教授)
- 2 身体拘束とは 小藤幹恵 石川県看護協会 会長
- 3 身体拘束により患者さんに生じる悪影響 小諸信宏 セコムメディック病院 リハビリテーション部部长
- 4 身体拘束の倫理的・法的問題 大磯義一郎 浜松医科大学 総合人間科学講座法学教授
- 5 患者・家族へのかかわりかた 甲斐由紀子 宮崎大学医学附属病院 医療安全管理部副部長
- 6 身体拘束最小化に向けた環境整備 松山愛 医療法人湊仁会定山溪病院 副看護部長 認知症看護認定看護師
- 7 看護記録のつけかた 新村美佐香 菊名記念病院 医療安全管理室 室長
- 8 身体拘束解除に向けた多職種チームの仕組みづくり 箱田美知恵 北里大学病院 医療安全推進室 医療安全管理者(看護師)
- 9 事例紹介1 脳血管 安井はるみ セコム医療システム株式会社 運営監理部 担当課長
- 10 事例紹介2 認知症 大原志歩 神奈川県済生会横浜市東部病院 TQMセンター 医療安全管理室 副室長

連載

・せん妄で困った！ どうすればよかった？ こうすればよかった！ プランナー：栗生田友子(埼玉医科大学)  
・報告だけにならないカンファレンスの技術

読者ターゲット

リハビリテーションにかかわるナース、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの  
コメディカルスタッフ

ADポイント

リハビリナースでは、摂食・嚥下リハビリ、病棟リハビリ、地域連携、患者さんの  
全身管理などについて、さまざまな角度から取り上げます。

広告締切

申込締切日：2025.5.15 版下出版社必着：4C 2025.5.15 1C 2025.5.28 綴込 2025.6.2

広告料

(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
記事※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事	1色	1頁	80,000	220×150
記事	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がり天地左右3mm タチシロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります(記事カラーのみ対応)。

● 広告原稿は完全データをお願いします。※広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。

● 入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。

● 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。

● 企画内容が変更になる場合があります。

広告に関するお問い合わせは、上記の取扱い代理店、もしくは(株)メディカ出版 総広告代理店(株)メディカ・アド

TEL:03-5776-1853までお願いいたします。

◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧(<https://www.medica.co.jp/ad/>)」からダウンロードできます。